

平成21年3月卒業生 大学等合格者数

大学名	合格者	大学名	合格者	大学名	合格者	大学名	合格者	大学名	合格者
北海道大	8	岡山大	1	昭和女子大	1	神奈川大	12	京都薬科大	2
北海道教育大函館	1	広島大	3	女子栄養大	1	神奈川工科大	5	同志社大	16
東北大	6	徳島大	1	成蹊大	3	関東学院大	2	同志社女子大	2
宮城教育大	1	香川大	1	成城大	1	フェリス女子大	3	立命館大	35
山形大	3	高知大	3	聖心女子大	1	新潟薬科大	1	龍谷大	6
茨城大	2	宮城大	1	専修大	11	金沢工業大	1	大阪体育大	1
筑波大	4	秋田県立大	1	大東文化大	1	帝京科学大	4	大阪薬科大	1
群馬大	1	高崎経済大	2	玉川大	1	岐阜女子大	1	関西大	4
埼玉大	3	埼玉県立大	1	中央大	33	静岡理工科大	4	近畿大	1
千葉大	1	首都大東京大	6	津田塾大	4	聖隷クリスファ大	9	阪南大	1
電気通信大	6	横浜国立大	1	帝京大	2	常葉学園大	12	関西学院大	6
東京大	2	都留文科大	2	東海大	5	浜松大	2	神戸女子大	1
東京外語大	4	静岡県立大	16	東京家政大	2	静岡文芸大	16	神戸薬科大	2
東京学芸大	3	大阪府立大	1	東京経済大	2	静岡英和学院大	1	武庫川女子大	5
東京工業大	1	大阪府立大	2	東京工大	3	愛知大	5		
東京農工大	3	長崎県立大	1	東京慈恵会医科大	1	愛知医科大	1	静岡県立大短大	3
一橋大	2			東京女子大	4	愛知学院大	2		
横浜国立大	4	国際医療福祉大	2	東京電機大	8	愛知工業大	3	日産自動車専門学校	1
新潟大	1	自治医科大	1	東京農業大	17	愛知淑徳大	2	静岡アリアート専門学校	1
金沢大	1	獨協医科大	1	東京理科大	24	愛知みずほ大	1		
福井大	1	獨協大	3	東邦大	3	金城学院大	1		
山梨大	3	文教大	4	東洋大	10	福山女子学園大	2		
信州大	1	千葉科学大	4	日本大	23	中京大	6		
岐阜大	1	青山学院大	10	日本女子大	1	東海学園大	1		
静岡大	39	亜細亜大	2	日赤看護大	1	豊田工業大	1		
浜松医科大	2	学習院大	2	法政大	18	名古屋外国語大	4		
名古屋大	6	北里大	7	武蔵大	2	名古屋芸術大	1		
名古屋工業大	2	共立女子大	1	東京都市大(旧・武蔵工大)	3	南山大	2		
三重大	1	慶應大	7	明治大	27	名城大	2		
京都大	3	工学院大	1	明治学院大	6	日赤豊田看護大	1		
大阪大	6	國學院大	3	明治薬科大	1	京都外国語大	3		
奈良女子大	1	駒澤大	4	立教大	6	京都産業大	3		
和歌山大	1	芝浦工業大	20	早稲田大	8	京都女子大	4		
鳥取大	1	上智大	1						



棋道部女子団体戦メンバー (左から坂本さん、青木さん、斎藤さん)

棋道部

斎藤南

(三年)

私達棋道部は、三月二十日に大阪商業大学で行われた「全国高等学校囲碁選抜大会・団体戦女子の部」に出場しました。この大会では、全国九ブロックから選ばれた代表十六校が一堂に会いました。県大会、東海大会を通して初めての全国大会という場は、ほかの大会とは一味違うピリッとした空気が張り詰めて緊張しました。大会はスイス方式で行われ、主将副将三将と三人のうち二人が勝つことで白星になります。一人が負けてしまっても他の二人が勝てばチームは勝ちとなるので、そこがチーム戦の面白い所でもあり、プレッシャーを感じることもしばしばありました。しかしお互いの声を掛け合い、一回戦は負けてしまったものの続く二回戦、三回戦を制し、次で勝てば上位を争うという四回戦に突入しました。結果は惜しくも負けてしまいましたが、七位となることができました。一年前では県大会一回戦で負けてしまったこのチームが、全国ベスト8入りを果たすことができたなんて夢のように嬉しかったです。私達最後となる六月の大会でも栄冠を手にし、大会でも栄冠出場できるように、メンバーで力を合わせて頑張りたいです。



部活動の近況報告

放送部

金刺佳実

(二年)

私は今年の八月に開かれる、全国高等学校総合文化祭朗読部門に、静岡県代表として出場します。新人戦で二位になり、県代表に選ばれた時は信じられない気持ちでいっぱいでした。なぜなら、私が朗読を始めたのは、高校に入学してからだからです。それまでは朗読の大会の存在さえ知りませんでした。でも朗読の世界を知れば知るほど奥の深いものなのだとわかり、今では朗読の練習がとても楽しいです。例えば、黙読してただけでは気づかなかった作品の良さが、朗読していると見えてきます。そして繰り返し読むことで作品への感動が深まり、朗読する前よりもずっと、その作品が好きになります。声だけで情景を伝える朗読では、「間」の使い方やわずかなイントネーションの変化など、ごく小さなことがとても重要です。そんな朗読を上達させるには、上手な人の朗読を聞くことが一番です。だからこの大会で他県の人のよい発表をたくさん聞いて、自分も成長したいです。また、自分もそんな朗読ができるよう、がんばりたいと思います。

3度目の東高

鈴木貞良副校長 (41回)



私自身、東高に三度御厄介になろうとは思っていません。一度目は昭和四十年から生徒として、二度目は昭和五十三年から数学科の教諭として十二年間、そして昨年度教頭として赴任し本年度は教員生活最後の御奉公をしています。入学した時、第一棟は木造校舎であった。ワックスと土埃が混じり合って染みこんだどす黒い床は、油くさい独特の臭いがした。朝登校した際に最初にすることは、白線一本の学帽で机と椅子を拭くことだった。入学式直後の生活上の注意事項で、今後下駄履き登校は禁止と言われたことも強く印象に残っている。土曜日の午後に行われた大学入試模試が嫌で、私を含めクラスの半数近くが正し合わせて脱走し、新任の若き担任の吉田正先生が大手のバス停付近まで必死になって皆を追いかけてこられた。申し訳なくもあり懐かしさもある思い出である。

教諭として勤務した十二年間は毎日が実に充実していた。同僚の数学科の先生方はいずれも実力のある方で、日々の生活の中で教員として成長させていたのだと思う。毎週、数学科の先生が輪番で自分の専門分野からテーマを選び他の先生方で講義をするという習慣があり、実に有意義で格調高いものだった。残念ながら現在では、先生方は多忙す

支部活動報告

焼津支部 鈴木登次 (三十六回)

駿河湾にようやく春の日差しが感じられる三月一日に、焼津松風閣において焼津支部の第二回総会が出席者七十七名のもと行われました。倉嶋伸康代表幹事の司会によって進められた。開会の辞中野昌司副支部長。大石鉄郎焼津支部長の挨拶。横田堯同窓会長のサツカー全国大会、グラウンドの芝生に整備したことなどの報告を含めての挨拶。母校杉本校長先生の本年で定年を迎えるとの挨拶がありました。議長は鈴木登次を選出。第一回平成十八年四月より二十一年三月までの、事業報告、会計報告が承認され、役員改選は会長大石鉄郎、副会長中野昌司、篠宮義晴、幹事全員が再任されました。総会に引き続き宴会に入

る。宴たけなわの中、リーダー大石秀和の発声、小長谷節子のピアノ伴奏で駿河湾に響くとかばり藤枝東高校歌、第一応援歌、第二応援歌にそれぞれ思い出を込めて笛声や張り上げました。時を忘れた宴も篠宮義晴副会長の閉会の辞をもって閉会となりました。

藤枝支部 石田哲夫 (二十七回)

藤枝東高の所在地である藤枝で同窓会藤枝支部が活発に活動しなければと強い声に押されて、漸く平成二十二年二月七日第一

ぎ、そんな精神的時間的なゆとりはない。また、サッカー部には昭和六十年から五十年間、部長として関わらせていただいた。中山雅史君が主将の時からであった。その前年度、選手権全国三位となったものの、清水勢に押し負けの時代が続いていた。周囲から厳しい激励の言葉をいただく中、当時の選手たちは結果を出すため必死に頑張っていた。そのような歴史やそういったOBの方々の力、地域の方々の力が現在のサッカー部の活躍に繋がっていると思う。私自身、東高に関わりながら一貫して感じていることは、この学校は、生徒管理に関しては極めて緩やかな校風を持ち続けている学校だと言うこと。良く言えば生徒の自己規制力を尊重する見守り型、悪く言えば生徒の自己規制力や保護者の教育力への依存型と言える。生徒の道徳心が失われ感性が大きく変化してきた時代の中で、この体質を持ち続けることができている事自体、稀な数少ない高校と言えよう。今、諸状況を勘案するにつけ、今後この校風を守り続けることは残念ながら困難になりつつある。現在そして将来に有効な懐の深いおらかな指導とは如何なるものか追究すべきである。

平成20年度 藤枝東高等学校同窓会会計決算書(案)

(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

収入総額 32,200,110円  
支出総額 32,200,110円  
差引金額 0円

収入の部		△は減		単位:円	
科目	20年度決算額	20年度予算額	増減	摘要	
繰越金	25,461,647	25,461,647	0		
入会金	2,849,000	2,876,000	△27,000	10,000円×284名 3000円×3名	
寄付及び総会費	3,848,820	3,500,000	348,820	維持費及び総会費	
雑収入	40,643	70,000	△29,357	預金利息等	
合計	32,200,110	31,907,647	292,463		
支出の部		増減			
科目	20年度決算額	20年度予算額	増減	摘要	
会議費	207,327	800,000	△592,673	本部役員会、役員総会、各委員会	
事務費	3,233,497	3,400,000	△166,503		
事務局費	515,100	600,000	△84,900		
旅費	174,904	100,000	74,904	本部役員会、関東地区会	
印刷費	867,300	1,000,000	△132,700	会報送付用封筒等	
通信費	1,484,179	1,500,000	△15,821	会報送付費用・往復葉書、切手	
備品費	135,256	100,000	35,256	パソコン・電話機	
消耗品費	56,758	100,000	△43,242		
事業費	1,282,094	2,450,990	△1,168,896		
記念品費	315,543	400,000	△84,457	卒業生記念品、入会記念品	
ホームページ変更	0	500,000	△500,000		
慶弔費	153,130	150,000	3,130	転退職者御饗別	
会館補助費	100,000	100,000	0	千南原会館維持費補助	
会館整備費	69,563	200,000	△130,437	会館網戸等	
保険料	51,320	60,000	△8,680	同窓会館火災保険料	
渉外費	70,000	500,000	△430,000	各関係の団体等への祝儀	
特別会計補助金	440,990	440,990	0		
雑費	81,548	100,000	△18,452	卒業アルバム代、応援メッセージ	
予備費	8,000,315	25,256,657	△17,256,342	人工芝グラウンド整備支援金	
次年度繰越	19,476,877	0	19,476,877		
合計	32,200,110	31,907,647	292,463		

(注)予備費(人工芝グラウンド整備支援金)につきましては、平成21年3月22日開催の臨時総会にてご承認を頂いております。

榛南支部 松浦宏長 (三十二回)

○榛南支部の総会が開催され、役員が交替しました。開催月日 平成二十一年一月二十五日(日)・開催場所 吉田町住吉「魚千代」・役員 支部長 松浦宏長 (三十二回卒) 副支部長 前田洋志 (三十七回卒) 吉田地区幹事 松浦英彦 (三十三回卒) 榛原地区幹事 田島正典 (三十三回卒) 相良地区幹事 前田洋志 (三十七回卒) 村松弘敏 (三十九回卒) 富田直樹 (四十一回卒) 山本正己 (四十一回卒)

\*同窓会事務局からお願い\*

事務局では会員の皆様の連絡先をデータベース化し、きちんと会報がお手元に届くように努力しております。連絡先に変更のある場合は、下記まで御一報ください。なお、公表その他目的外の使用は致しません。同窓会・同期会等の集まりを開催の場合は、是非同窓会ホームページを御利用ください。

〈同窓会事務局〉

〒426-8577 藤枝市天王町1-7-1 静岡県立藤枝東高等学校同窓会事務局  
TEL 054-645-3527 FAX 054-645-3529  
メールアドレス: fh-dousokai@cy.tnc.ne.jp  
ホームページ: http://fujiedahigashikou-dousokai.web.infoseek.co.jp/  
(毎週月・水・金 午前中 事務員〔青嶋〕が在席しております。)

古稀記念の同期会を開催

第三十一回生(昭和三十三年卒)の同期会を開催します。開催日時 平成二十一年六月六日(土)午後六時開会 開催場所 ホテルアンビシア松風閣 焼津市浜当目 問合せ先 三組四組代表幹事 櫻井靖郎

